

Since
2011

東京都
新宿区

医療法人社団杉一会

杉山産婦人科 新宿

「仕事と不妊治療の両立」をテーマに掲げ、診療時間及び胚移植時間を延長し、仕事を休まずに治療を受けることができる環境の実現を目指しています。

不妊治療では、人間が本来持っている生命力(気)を回復(もどる=元気)させ、経済的にも最小限の負担となるよう、早期妊娠を目指すことが目標となります。その後の良好な妊娠経過と出産から、産褥期においても早期回復が迎えられ、元気に子育てができるようにすることまでが大切です。その目標のためには、ご主人にも積極的に治療に参加してもらい、夫婦の望む子どものために仲良く手を取り合って、明るく治療を受けられるよう、手伝いたいと考えています。



院長 中川 浩次 先生

1990年、自治医科大学を卒業。徳島大学医学部産婦人科で体外受精の臨床・研究を重ね、愛媛県立中央病院、国立成育医療センターを経て、2008年より杉山産婦人科生殖医療科に勤務。体外受精反復不成功例や習慣流産・不育症症例に対して、独自のアイデアで対策を講じ、数多くの成果を公表している。2018年1月より現職となる。

- 【所属学会】 ● 日本受精着床学会理事
- 【専門医】 ● 日本産科婦人科学会認定医
- 生殖医療専門医 ● 産婦人科内視鏡技術認定医



診療日 時間：午前 8:30～12:00、午後 14:00～16:00、15:00～19:00

	月	火	水	木	金	土	日	祝祭
午前	○	○	○	○	○	○	○	○
午後	×	○	×	○	×	○	×	×
夜間	○	×	○	×	○	×	×	×

※ 完全予約制

電話

03-5381-3000

受付時間：8:30～12:00
14:00～16:00(火・木・土)、15:00～19:00(月・水・金)



〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-19-6 山手新宿ビル
交通：新宿駅 地上出口7よりすぐ

主な連携・紹介施設など

健診・分娩施設／杉山産婦人科本院・その他ご希望に応じます
婦人科検査・外科／慈恵会医科大学付属病院など
内科系疾患／慈恵会医科大学付属病院など
助成金行政窓口／お住まいの地域の役所・保健所

データなどからわかること

杉山産婦人科は、東京では歴史もあり、地元でも愛され続けている評判のよい産科施設です。分娩までを扱う産科施設ですが、子どもを願う夫婦に広く専門的に対応するために、生殖医療科を開設し不妊治療部門を設けました。そして、需要の高まる子宮内膜系の疾患に対して、東京の丸の内にて ART と腹腔鏡を専門とする杉山産婦人科 丸の内を 2011 年に開設しました。続いて今年 2018 年に生殖医療科を新宿に移転し、本

院での生殖医療科を閉じるとともに、新宿という交通の拠点となるマンモス都市に、仕事と治療を両立しやすい環境の新施設をオープンしました。

東京は新宿と丸の内、乗降客のもっとも多い駅 2 つに不妊治療施設ができたことにより、今後はさらに充実した環境のもと、より多くの患者さんを診ることで、杉山産婦人科は生殖医療の分野でも、広く愛されるよう期待が高まっています。



治療の特徴

排卵誘発法と治療数

基本的な治療方法は昨年同様です。採卵、移植に向けてのスケジュールは低刺激と自然周期。

患者さんの割合では、一般不妊治療が全体の 3 分の 2、ART が 3 分の 1 の割合です。ART の治療件数だけでも 4,000 件以上となり、不妊治療に訪れた患者さんには、杉山産婦人科として広く応える体制のもと、出産までの道のりを同院にて確実に最後まで導くことを目指します。

説明会

月に 1 回のペースで説明会を院内会場にて開催。患者さんが参加しやすいよう土日が開催日で、120 名ほどが参加できます。体外受精講習会の名称で、体外受精の説明をメインに不妊治療全般の知識、その治療方法や方針が伝えられます。説明にあたるのは院長の中川浩次医師、培養士と看護師で、参加は無料でどなたでも参加することができます。

妊娠力と補助医療

女性の身体の構造は、子どもを産むためにとてもうまく出来ています。不妊症では、その仕組みや機能を出来るだけ取り戻せるよう、または医療で補えるよう治療があります。

体外受精では、卵巣から卵子を採り出して体外という環境のもと、受精が行われます。そして胚盤胞までの培養や凍結保存が行われる場合、胚へのストレスも大いに考えられます。その場合の対応として、母体に早めに戻して良い環境下での成長、着床から妊娠を期待するという選択もあります。

胚移植と妊娠

母体となるお母さんの身体が元気であること。そのためには、リスクな薬剤投与法は避け、できるだけよい体調で治療を乗り越えることが大切です。それができれば、新鮮初期胚移植という選択にも大きな価値があります。このような選択も重視しながら、高い妊娠結果に結びつけています。

腹腔鏡の診療においても高い評価と実績があり、妊娠結果を高めています。とくに通常の ART だけでは困難なケースでも、丸の内との連携で治療対応できるメリットもあります。

Clinic Data

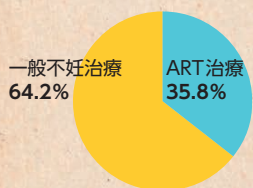
杉山産婦人科 新宿 詳細データ

Staff
医師 6人
看護師 12人
培養士 8人
検査技師 6人
相談スタッフ 1人
事務 8人

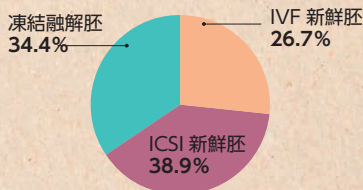
年間治療実施数について

統計期間：2016年1月～2016年12月（12ヵ月で計算）

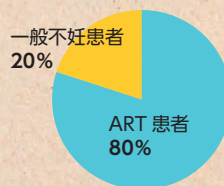
ART患者の割合



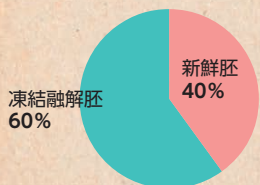
治療周期の割合



治療による妊娠の割合



新鮮胚移植と凍結融解胚移植の妊娠の割合



体外受精の原因で多いもの

- 年齢因子
- 男性因子
- 卵管因子

得意とする対応

- IVF (体外受精)
- ラパロ (内視鏡手術)
- FT (卵管鏡下卵管形成術)
- TcR (子宮鏡手術)
- 子宮内膜症

ARTでの今までの実績

患者平均年齢 …………… 38.1 歳
 出産の最高齢者 …………… 46 歳
 最高齢患者 …………… 51 歳
 多胎発生率 …………… 1 %

受精方法

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 通常の凍精 | <input type="checkbox"/> レスキュー ICSI |
| <input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 | <input type="checkbox"/> IMSI |
| <input checked="" type="checkbox"/> スプリット ICSI | <input checked="" type="checkbox"/> 未成熟卵培養 |

体外受精の費用(参考)

体外受精 30～40万円
 顕微授精 30～45万円
 使用薬剤は別途 3～5万円
 その他項目 2～3万円
 排卵誘発剤・ホルモン検査

01 治療をはじめるとあって

ARTの説明会

有 **無** [形式]

[説明するスタッフ]

[説明会の様子と日程]

毎月、土曜日または日曜日に月2回。

相談窓口

予約不要 **通院者のみ** **どなたでも**

[説明するスタッフ]

治療前に確認すること

- 治療歴 ● 治療にむけての夫婦生活 ● 妊娠歴 ● 出産歴
- 夫婦の入籍状況 ● 夫婦の卵子と精子での治療であること
- 保険証

治療周期前に行う検査

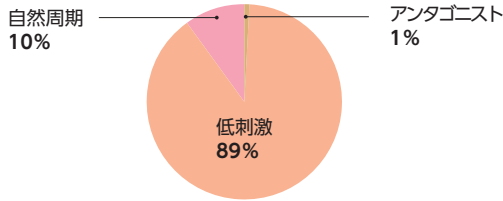
- 月経の様子 ● 基礎体温 ● ホルモン値 ● 子宮検査
- 卵管検査 ● 卵巣検査 ● 精液検査 ● AMH値
- 治療周期 2～3 周期前からの月経・ホルモン値

ARTの資料

有 **無**

Stage 02 誘発方法と薬剤について

誘発方法の比率



使用薬剤

シクロフェニル	
クロミフェン	クロミッド
レトロゾール	レトロゾール
GnRHアゴニスト	プセリキュア
GnRHアンタゴニスト	
HMG	
recFSH	ゴナールF
FSH	
hCG	オビドレル

錠剤 噴霧 注射

[自己注射] 可 不可

Stage 03 採精について

採精場所

自宅 80% 施設 20%

男性不妊対応

自院対応 連携施設 紹介のみ

特別な採精方法

TESE MD-TESE MESA ReVSA PESA 前立腺 電気

Stage 04 採卵について

事前検査回数

エコー検査 2回 ホルモン検査 1回

採卵時の麻酔

全身 局 痛 無

採卵時スタッフ

医師 看護師 薬剤師 検査技師

採卵のタイミング

hCG注射 35時間後 GnRHアゴニスト点鼻 35時間後 卵胞径 20ミリ

[採卵後休憩] 30分

[付き添い] OK

[使用採卵針] 20G

Stage 05 培養室について

衛生・管理面での厳守

- 入室時の手洗い 専用衣服、帽子、マスクの着用
- 空調管理 温度、酸素濃度の確認 室内清掃
- 作業マニュアル（更新含む） 勉強会や検討会がある
- ミスが起きた時の対応はすぐにとれる

培養士の人数

専門培養士 8人 検査技師兼任 8人 医師兼任 0人

[管理責任者] 白井安砂子

凍結保存

胚 精子 卵子 [延長連絡] 電話、手紙 来院

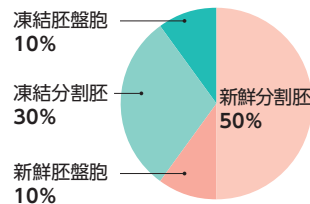
胚：期間&費用…12ヵ月年30,000円/更新…50,000円

Stage 06 胚移植について

[分割胚] 1個

[胚盤胞] 1個

移植胚の状態



黄体管理

注射 服薬 貼付 腔坐薬 [診察] 1回

Stage 07 妊娠について

妊娠判定受診日

[分割胚移植後] 14日 [胚盤胞移植後] 12日

陽性的場合

[判定日の内診] 無 [妊娠中の診察] 9週まで

[分娩] 院内可・紹介施設有

陰性的場合

[次回診察] 3日目

[カウンセリング] 有